

平成23年度
第2回稲毛区公民館運営審議会議事録

- 1 日時 平成24年3月7日(水) 午後2時～午後4時
- 2 場所 小中台公民館(講堂)
- 3 出席者 (委員 14人)
- 地引 昌子委員長 青柳 典子副委員長 安川 信一郎委員
裕 茂樹委員 佐々木 美智子委員 周東 ひさ子委員
藤川 勇委員 森脇 清委員 太田 きぬ子委員
宮野 勝子委員 瓜生 澄江委員 種池 賀子委員
菊池 まり委員 飛鳥井 航一委員
- (事務局 11人)
- 板倉館長、宮原副館長(小中台) 平野館長(黒砂) 倉原館長(轟)
反町館長(稲毛) 中川館長(千草台) 小川館長(草野) 新田館長代理(山王)
首藤館長(都賀) 鈴木館長(緑が丘) 池田主任主事(緑が丘)

4 会議次第

- (1) 開 会
- (2) 委員長あいさつ
- (3) 小中台公民館長あいさつ
- (4) 議題
 - ①平成23年度 稲毛区公民館利用状況について
 - ②平成23年度 稲毛区公民館事業報告について
 - ③平成24年度 稲毛区公民館事業計画について
 - ④その他

5 議事の概要

- (1) 平成23年度 稲毛区公民館利用状況について
各公民館の利用状況・公民館図書室の利用状況を事務局から一括説明した
- (2) 平成23年度 稲毛区公民館事業報告について
各館長から順次、23年度の事業報告を説明した
- (3) 平成24年度 稲毛区公民館事業計画について
各館長から順次、24年度の事業計画を説明した
- (4) その他

6 会議経過

副館長 定刻となりましたので、始めさせていただきます。

委員長 地引委員長あいさつ

(定足数報告)

出席委員14人をもって、会議が成立。

(議事録署名人の選出)

委員長より、菊池委員、飛鳥井委員を指名。

(地引委員長が議事を進行)

委員長 それでは、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。

限られた時間内での審議ですので、よろしく審議のほどお願いします。

議題(1)平成23年度稲毛区公民館利用状況について。

事務局から説明をお願いします。

副館長 議題(1)平成23年度稲毛区公民館利用状況について説明。

9公民館の会館日数、利用人数、利用時間帯別人数及び内訳等。

5公民館図書室の蔵書数、登録者数、貸出冊数、リクエスト件数等を報告。

委員長 次の議題(2)平成23年度各公民館事業について、事務局から説明をお願いします

事務局 小中台公民館長、黒砂公民館長、轟公民館長、稲毛公民館長、千草台公民館長、草野公民館長、山王公民館長代理、都賀公民館長、緑が丘公民館長から各館の事業報告について説明。

委員長 以上で各公民館の説明が終わりました。どの公民館も色々と工夫をしながら事業を進めている様子がうかがえて、大変良かったと思います。議題(1)、(2)について、何か質問等ありましたらお願いします。

委員 昨年は大きな地震があり、その影響で利用者が減ったとの報告もありましたが、それでも利用者人数を見ると、多くの人達に利用されている事が分かります。利用者も、小さい子供からお年寄りまで幅広い年齢層の方々に使われていて大変良いと思います。また、子供の利用に関しましては、公民館の利用は同年代の子供同士だけの利用でなく、地域のいろいろな年代層の子供達との接する機会も多くあれば良いと思います。

委員 子供と大人を分けている事業が多いので、出来れば子供からお年寄りまでが一緒にやれる事業がもっとあっても良いかと思います。学校によっては、地域の人達と竹とんぼや折り紙を作ったりしている所もあるとの事で、公民館の中でも是非何か一緒に出来る事業をやって欲しい。昔は小川で笹舟遊びなどやりましたが、今は場所なども限られてしまっている事などから、なかなか遊ぶのが難しくなりましたが、出来れば昔の情景を作って何か昔の遊びをお年寄りから今の子ども達に教えてあげられたら良いと思います。

委員長 とても貴重な意見だと思います。お年寄りがいつまでも若く元気にいられるには、お年寄り同士で会話しても老化防止の効果は少ししか期待されないが、子供達と

接する事によりお年寄りには不思議なエネルギーをもらい、ぐっと若返ると言う事を聞いた事があります。また、今の子供達は自然と触れ合う機会が少ないので、昔の自然遊びなどの体験を通じて、自然に対する関心度なども高まってくれば良い事だと思います。

委員長 他に質問がなければ、次の議題（3）平成24年度各公民館事業計画について、事務局より説明をお願いします。

事務局 小中台公民館長、黒砂公民館長、轟公民館長、稲毛公民館長、千草台公民館長、草野公民館長、山王公民館長代理、都賀公民館長、緑が丘公民館長から各館の事業説明。

委員長 ただ今、事務局より説明がありましたが、質問がありましたらお願いします。
委員 地域の協力を得て、学校でこま回しの練習があったが、現在のゆとり教育の中では学習の活動時間が2時間程度しかとれず時間が足りなかった。しかし、地域の老人会の協力などを得て活動日の後にも学校に足を運んで頂き、子供達のために指導してくれていることについてはとてもありがたいと思いました。また、学校では公民館の事業をPR出来るように、図書室等にポスターを貼れる掲示板を設けています。

委員 公民館が稲毛区の中核館制度となって12年目となります。始まった頃は中核館が区としてまとめた事業があったが、現在は地区館ごとの事業展開となっている。今の公民館予算の編成状況と、今後の公民館のあり方や使われ方についてお聞きしたい。

事務局 おしゃべりタイム、パソコン事業につきましては中核館で予算を持っていますが、その他につきましては9館平等に予算が配布されています。来年度はパソコン事業の回数の関係で、配布額が少し多くなる予定となっています。
昔は、市内の公民館を社会センターがまとめていましたが、あまりにも広すぎて地域の意見等が拾えなかったと言うことで、区政に別れてから各区の公民館で地域の意見を吸い上げる今の体制に変わりました。教育委員会では第4次生涯学習推進計画を作成しており、その推進計画に基づいて公民館の事業計画を立て、地域の健康、安心安全、環境等を重視すると言う事で公民館はなくてはならない位置づけとなっています。

委員 災害時に備えて、どの程度の備蓄物などが公民館にはあるのでしょうか。

事務局 備蓄物などの管轄については総合防災課となります。現在は区役所などを拠点とする拠点備蓄体制を取っている為、小中学校には防災用具は設備されていますが、食糧等については備蓄しておりません。公民館につきましても、最初から食糧などの備蓄はございません。

委員 公民館の利用者を増やして行くには、我々のロコミも非常に大切だと言う事を認識しております。今後も多くの人が集まるように声を掛けていきたいと思えます。

委員 今の公民館は予算が無く建物も老朽化しているなど、これから何か良いアイデアを出していかないとますます衰退して行ってしまう。ある所では、民間で公民館を運

営していると言う話もあります。千葉市も今の体制では限界があり、これからは組織から変わって行かなくてはならないと思います。理想ですが、少しでも地域と密着して行く事が出来ないか悩んでいるところです。今後も皆さんで良い考えを出して行き、これからの運営審議会を進めて行けたらと思います。

委員長

すぐに今の体制を変えられるかと言うと、難しい所があると思いますが、目標を持って行くと言う事はとても大事な事だと思います。

他に何かありますでしょうか、なければ終了とさせていただきます。

皆様のご協力によりまして、本日の案件はすべて承認されました。

(問合わせ先) 所管課：千葉市教育委員会生涯学習振興課

電 話：小中台公民館 2 5 1 - 6 6 1 6